

2012年11月16日

## 地域医療や改築問題…考えよう

### 有志が北見赤十字病院「支援する会」

北見赤十字病院について考える市民有志の会が16日に発足する。師、谷川勝男さん(68)が発起人の代表を務める。会合は月1回ほど開く予定。北見赤十字の職員を招き、病院の現状や課題について説明してもらおう。参加者の疑問や要望に職員が答え、意見交換を予定する。

北見赤十字に対する疑問や要望、病院の改築問題などについて、病院関係者を交えて意見交換する。谷川さんは10月に北見赤十字に入院した際、同室の患者と病院の改築問題などで議論した。退院後、北見赤十字や地域医療の将来について市民がもっと考える必要があると感じたという。

名称は「北見赤十字病院の明日を考え、支援する会」(仮称)で、市内東陵町の元中学教

### 16日発足 「若い世代に参加を」

は将来の市民生活にかかわる重要なテーマ。若い世代にぜひ会合に参加してほしい」と呼びかける。

第1回会合は16日午後6時30分から北見市民会館(常盤町2)で開く。

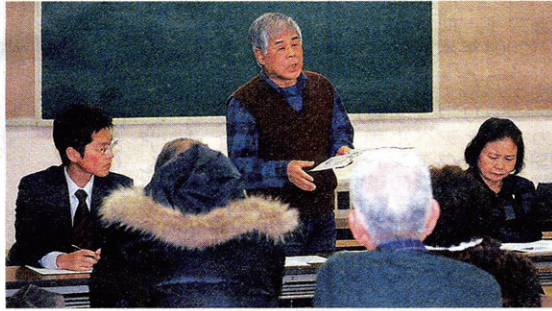
参加費は会場費として1人200円。問い合わせは谷川さん ☎0157・23・4378へ。

(山本忠彦)

42-12-17

# 北見の医療、みんな一緒に支えよう

▼会の趣旨を説明する谷川代表▼



## 「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」発足 明日を考え支援する会「発足

「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」(谷川勝男代表)が16日、発足した。オホーツク圏の中核病院として地域医療に重要な役割を果たしている同病院に関心をもち、市民の立場で支えようという集まり。谷川代表は「みんなが一緒になって北見の医療を支えていけるようになれば」と呼びかけた。

この会は、同病院の患者だった谷川代表が呼びかけ、11月に有志8人で準備会を発足。16日に会として立ち上げた。会場の市民会館には、準備会のメンバーのほか14人の市民が集まった。

谷川代表は、「北見赤十字病院では医師や看護師など千人もの方が仕事をしている。その方々への感

## 病院を知り、できることをしよう

謝の気持ちをみんなを持ちながら患者の悩みや要望を汲み取ってもらえるような病院になつてほしい」と述べた。

同病院の現状や、病院が持つ機能や役割を見学会などを通して知り、市民としてできることをしながら病院を支援するのが会の趣旨。移転改築後の新病院が予防医療の機能を発揮できるような提言などもしたい考え。

この日は、参加

した人達が自己紹介し、活動をしている人、現役の消防隊員とその家族など、様々な立場の人が参加。病院の職員も参加した。

北見市議会は17日、提案された北見市一般会計補正予算案など議案22件を可決、報告1件を了承して閉会した。

水道事業給水条例の一部改正案など料金改定に関連する議案3件は建設企業常任委に付託し、閉会中に審査することになった。

本会議で委員長報告を行った建設企業常任委員長の真柳正裕議員が報告文朗読中に突然倒れ、担架で病院に運ばれた。意識はあり、過労

### 北見市議会閉会

### 真柳議員、委員長報告中に倒れる

による体調不良とみられる。委員長報告は副委員長が代わって行った。

10月の定例市議会で否決された副市長の定数条例改正案は、今議会に追加提案されず、提案は2月の定例市議会以後に持ち越されることになった。(興)

### 副市長定数条例改正案は提案されず

**歳末大感謝セール!! 12/19(土)~30(水)**  
※全品お持ち帰り価格です。

**うまい! やすい! 超お買得米!!**

福島産 20年度産 100% 10kg **2,980円**

道産米100% 21年度産 10kg **2,990円** (新米)

ななつぼし **2,990円**

旭川当麻産100% 21年度産 10kg **2,980円** (新米)

ほしのゆめ **2,980円**

茨城産 21年度産 100% 当店お薦め米!! 10kg **3,380円** (新米)

こしひかり **3,380円**

府県産 21年度産 100% 10kg **4,700円** (新米) 配達も致します

**(株)トガン米店** (大町店/大町19番地 ☎23-4339) (美山店/美山町36-62 ☎24-5688)

### 現状など学び理解深める

から現状や歴史機能、現在の取り組みなど同病院の概要を学んだ。

同会は、来年1月29日(金)午後6時半から市民会館で2回目の会を開催する予定だ。問い合わせは谷川代表(☎0157-2314378)へ。(興)

経済の伝書鳩 本 社 北見市幸町2丁目1番地 0157-2314362(代)  
編集部・営業部 網走支店 網走市大曲1丁目13-8 ☎0152-6112400(代)  
北見 FAX 0157-2314308・網走 FAX 0152-6112438

しあわせの情報  
**経済の伝書鳩**  
日本ABC協会加盟紙  
新聞購読部数公表機関

しあわせの情報

日本ABC協会加盟紙  
新聞購読部数公表機関

# 談話室

北見赤十字病院(日赤)について学んだり意見交換したりする「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」が発足した。その代表を務める。病院内の見学会や患者の立場から提言することを目指す。規模は小さくても、市民や患者の立場から日赤を応援したい」と話している。

## ■医師のおかげで元気■

11歳のとき、当時はまだ死の危険もあった結核にかかった経験が忘れられない。半年間、週に2、3回ほど学校帰りなどに日赤に通院。この病気のため一時目が見えなくなったりときは母の押しりやカーで連れて行かれたこともあった。「医師のおかげで元気でいられるという感謝の気持ちを深く持った」と話す。

市民有志で「北見赤十字病院の明日を考え支援する会」を発足させた

谷川 勝男さん(68)



「規模は小さくても患者の立場から日赤を応援したい」と話す谷川勝男さん

## 患者の思い伝えたい

その後、北見などの中学校で教員として約40年勤務し、熱心さから金八先生とあだ名がついたことも。「いじめには向き合い、事実を知る」がモットーで、担当する学年に兆候が見えたときは徹底的に

話し合う。また、受け持ったクラスの40人一人一人について学校での行動や長所を文章にし「四十士小伝」と題して配ったこともあった。今は北見工大生を下宿させる学生寮を経営している。

昨年10月に鼻の病気で入院したときには同じ病室の患者と日赤の役割などを議論をした。地域住民の命にとって重要な存在という思いが募り、「日赤の問題は人ごとだとは思えない。住民自ら動くことが大切」と話す。退院後、知人が30人に声をかけた。教員時代に人間関係の悩みなどを聞いた昔の教え子も声をかけ合っ

て駆けつけた。そうして集まった8人が発起人となり昨年12月に会をスタートさせた。

## ■月1回の会合を予定■

第1回会合では、患者や市民約20人が参加し、日赤の職員から病院について説明を受けた。その後の意見交換では、若い入院経験者から「一緒にやりたい」という声もでた。「今まで診療を受けていたが、自分が何も知らないことに気づいた。中核病院としての役割や仕組み、財政状況など、まず勉強したい」と話す。月1回のペースで会合を持つことを予定している。

日赤改築への支援をめぐる北見市政は揺れている。「改築計画には賛同するが政治的な動きには直接かわらない方針。患者の思いを日赤に伝えていきたい」と話す。

(長谷川裕紀)